

専 門 基 礎 分 野

22 単位 (525 時間)

<ねらい>

- 人体を系統立てて構造と機能を理解し人間のもつ能力を知る。
- 医療の発展と課題を学び看護の役割について考える。
- 疾病の成り立ちを学び健康維持・回復の促進に関する観察する力、判断する力を身につけていく。
- 人間の生活を取り巻く環境と生活習慣を整えるための基礎的能力を学ぶ。
- 人々の生活の行政的基盤となっている仕組み、組織編成・構成を学ぶ。
- 人々が自らよりよい生活を営むための社会資源の活用に関して支援する基礎的能力を学ぶ。
- 地域における関係諸機関との連携を理解する。
- 看護師としての倫理的判断に則った態度の遵守について理解する。

<構 成>

教育内容	科 目	単 位	時間数
人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ	1	30
	解剖生理学Ⅱ	1	30
	解剖生理学Ⅲ	1	30
	解剖生理学Ⅳ	1	30
	人間生物学	1/5	15/135
疾病の成り立ちと回復の促進	微生物学	1	30
	病理学	1	30
	病態生理学Ⅰ	1	30
	病態生理学Ⅱ	1	30
	病態生理学Ⅲ	1	30
	病態生理学Ⅳ	1	30
	薬理学	1	30
	栄養学	1	30
	臨床治療論Ⅰ	1	15
	臨床治療論Ⅱ	1	15
	看護カウンセリング	1/11	15/405
健康支援と社会保障制度	公衆衛生学	1	30
	社会福祉Ⅰ	1	15
	社会福祉Ⅱ	1	15
	関係法規	1	15
	保健医療論	1	15
	リハビリテーション論	1/6	15/105
合 計		22	525

授業科目名	解剖生理学 I			担当教員	木元 貴祥		
分野	専門基礎分野	教育内容	人体の構造と機能	総単位 時間数	1単位 30単位	年次	1年次

授業概要

人体の構造と機能を学ぶための基礎知識を理解する。からだをつくる栄養・代謝機能と内臓機能を調節する内分泌のはたらきについて学ぶ。構造を図解してイメージ化を図る。まとめの問題を解きながら理解を深める。

授業のねらい

1. 内部機能を調節するメカニズムを理解する。
2. 栄養の吸収、代謝と排泄のメカニズムを理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	骨の構造と機能	講義	
2	脊柱～胸部～上肢	講義	
3	下肢～骨盤	講義	
4	骨格筋の名称・筋収縮	講義	
5	骨格筋・各論	講義	
6	免疫・皮膚	講義	
7	体温調節	講義	
8	腎の構造	講義	
9	非特異的防御機構	講義	
10	特異的防御機構と免疫	講義	
11	生体防御の関連臓器	講義	
12	腎臓の構造と機能 排尿路の構造と排尿	講義	
13	酸塩基平衡	講義	
14	電解質の異常	講義	
15	まとめ	問題演習/解説	

使用教科書・教材・参考書

系統看護学講座 解剖生理学 医学書院

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業ノートづくりを丁寧に行い試験に備えること

授業科目名	解剖生理学Ⅱ			担当教員	伊藤 正裕		
分野	専門基礎分野	教育内容	人体の構造と機能	総単位 時間数	1単位 30時間	年次	1年次

授業概要

血液によって栄養や酸素を細胞に運搬している。生命を維持する呼吸・循環機能と血球とリンパのはたらきについて学ぶ。図で示しながら説明してイメージ化を図る。

授業のねらい

1. 呼吸と血液循環のメカニズムを理解する。
2. 造血のメカニズムと血球の働きを理解する。
3. リンパの働きを理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	総論 ・呼吸と血液のはたらき・血液の循環とその調節	講義	
2	総論2 ・ガス交換とガスの運搬	講義	
3	心臓 ・心臓・動脈・静脈・リンパ	講義	
4	総論3 ・頭と消化器の血液循環	講義	
5	静脈 ・門脈	講義	
6	心臓 ・心臓の機能と構造:心電図	講義	
7	呼吸 ・呼吸器の構造	講義	
8	呼吸 ・肺胞の微小循環	講義	
9	血液 ・血液細胞	講義	
10	血液 ・酸素の動態	講義	
11	血液 ・血液型	講義	
12	呼吸 ・呼吸器の機能	講義	
13	呼吸 ・呼吸の調節・障害	講義	
14	リンパ	講義	
15	まとめ	講義	

使用教科書・教材・参考書

系統看護学講座 解剖生理学 医学書院

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業ノートづくりを丁寧に行い、試験に備えること

授業科目名	解剖生理学Ⅲ			担当教員	木元 貴祥		
分野	専門基礎分野	教育内容	人体の機能と構造	総単位 時間数	1単位 30時間	年次	1年次

授業概要

内部環境を整える体液の調節と外部環境からの防御について学ぶ。また、からだの支持と運動機能について学ぶ。構造を図解してイメージ化を図る。まとめの問題を解きながら理解を深める。

授業のねらい

1. 体を支持する構造と機能を理解する。
2. 外部環境から防衛するメカニズムを理解する。
3. 体液の組織と調節のメカニズム。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	内分泌について 脂溶性・水溶性 ホルモンについて	講義	
2	視床下部ホルモン	講義	
3	甲状腺ホルモン	講義	
4	膵臓ホルモン	講義	
5	副腎から分泌されるホルモン	講義	
6	性ホルモン	講義	
7	体内の環境の調節とホルモン	講義	
8	内分泌まとめ	講義	
9	消化器(1) 口腔について	講義	
10	消化器(2) 食道について	講義	
11	消化器(3) 胃・小腸について	講義	
12	消化器(4) 栄養素の消化・吸収/ 大腸について	講義	
13	自律神経の構造	講義	
14	自律神経の作用	講義	
15	消化器(5) 肝・胆・膵の機能	講義	

使用教科書・教材・参考書

系統看護学講座 解剖生理学 医学書院

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業ノートづくりを丁寧に行い、試験に備えること

授業科目名	解剖生理学IV			担当教員	伊藤 正裕		
分野	専門基礎分野	教育内容	人体の機能と構造	総単位 時間数	1単位 30単位	年次	1年次

授業概要

情報を受容し処理する機能がからだを動かし安全に保つこと、生殖・発生と老化のしくみについて学ぶ。図で示しながら説明してイメージ化を図る。

授業のねらい

1. 情報の受容と処理を司る器官の構造と機能を理解する。
2. 生殖・発生と老化の仕組みについて理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	男性生殖器の構造と機能	講義	
2	女性生殖器の機能と構造	講義	
3	受精・着床・発達	講義	
4	胎盤	講義	
5	胎児循環	講義	
6	ニューロンとその支持細胞	講義	
7	中枢神経の外観と機能	講義	
8	脊髄・小脳の機能と構造	講義	
9	脳幹・大脳基底核・大脳辺縁系の構造と機能	講義	
10	大脳皮質の構造と機能 錐体路・錐体外路の構造と機能	講義	
11	間脳・体性神経 自律神経の構造と機能	講義	
12	脳・脊髄神経の構造と機能	講義	
13	脊髄神経・脳室・髄膜の構造と機能	講義	
14	視覚伝導路・外眼筋・内眼筋の構造	講義	
15	聴覚・嗅覚・平衡覚・味覚の伝導、構造と機能	講義	

使用教科書・教材・参考書

系統看護学講座 解剖生理学 医学書院

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業ノートづくりを丁寧に行い試験に備えること

授業科目名	人間生物学			担当教員	長谷場 健		
分野	専門基礎分野	教育内容	人体の機能と構造	総単位 時間数	1単位 15時間	年次	1年次

授業概要

生物的進化的存在としてのヒトの理解の上に、社会的存在としての人間を理解する。また、自己および他者を客観的・科学的に理解する能力を高めることを期待している。

授業のねらい

1. 生物学的進化的存在としてのヒトを理解する。
2. 社会的存在としてのヒトを理解する。
3. 自己及び他者を客観的、科学的に理解する能力を高める。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	科学的人間論	講義	
2	進化	講義	
3	ヒト化人間化	講義	
4	性と人間	講義 課題:「人の一生」	
5	遺伝と環境	講義 課題:「人間の脳と人間性」	
6	DNAから人間へ 人間の一生・寿命	講義 課題:「生物的ヒトと社会的人間」	
7	人間の脳 人間性 社会そして未来	講義 課題:テーマを決めてレポートを書く	
8	まとめ	講義	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

使用教科書・教材・参考書

講師作成資料

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業科目名	微生物学			担当教員	石川祐樹		
分野	専門基礎分野	教育内容	疾病の成り立ちと回復の促進	総単位時間数	1単位 30時間	年次	1年次

授業概要

代表的な病原微生物の性質を理解し、臨床の現場に活かせることを期待する。消毒やスタンダードプリコーションの基礎知識を学び、感染管理の理解につなげる。

授業のねらい

1. 代表的な病原微生物の性質を理解する
2. 臨床における感染管理の基礎を理解する

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	微生物学総論	講義	
2	免疫学総論	講義	
3	細菌とは グラム陰性球菌	講義	
4	グラム陽性球菌 ブドウ球菌・レンサ球菌・肺炎球菌	講義	
5	グラム陽性桿菌 炭疽菌・セレウス・ジフテリア・リステリア	講義	
6	グラム陽性桿菌 破傷風・ボツリヌス菌・ディフィシル菌	講義	
7	グラム陽性桿菌 腸内細菌科	講義	
8	グラム陰性桿菌 ビブリオ科・パスツレラ他	講義	
9	グラム陰性桿菌 好気性菌	講義	
10	抗酸菌属 結核菌、非結核性抗酸菌、らい菌	講義	
11	特殊細菌 マイコプラズマ、クラミジア、リケッチア	講義	
12	真菌 表在性真菌症他	講義	
13	寄生虫 原虫他	講義	
14	ウイルス 上気道感染	講義	
15	ウイルス 消化管感染症	講義	

使用教科書・教材・参考書

系統看護学講座 微生物学 医学書院

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

視聴覚教材を用いて講義を行います。

授業科目名	病理学			担当教員	久保川 利哉		
分野	専門基礎分野	教育内容	疾病の成り立ちと回復の促進	総単位 時間数	1単位 30時間	年次	1年次

授業概要

健康から疾病に至る変化のプロセスと、その結果生じた形態学的変化や機械的障害を学ぶ。病態生理の各論へのイントロダクションとなる。

授業のねらい

1. 疾病の原因とその結果生じた形態学的変化や機械的障害について理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	病理学の役割と意義 病気の原因(内因・外因・医原病と公害病)	講義	
2	先天異常と遺伝子異常	講義	
3	細胞障害	講義	
4	糖代謝障害	講義	
5	ビリルビン代謝障害	講義	
6	結石	講義	
7	循環障害	講義	
8	炎症と免疫	講義	
9	骨髄移植	講義	
10	腫瘍	講義	
11	呼吸器系の疾患	講義	
12	腎・泌尿器・生殖器・乳腺の疾患	講義	
13	内分泌系の疾患	講義	
14	脳・神経・筋肉系の疾患	講義	
15	耳・眼・皮膚の疾患	講義	

使用教科書・教材・参考書

系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 医学書院
プリント

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業科目名	病態生理学 I			担当教員	松永 保		
分野	専門基礎分野	教育内容	疾病の成り立ちと回復の促進	総単位時間数	1単位 30時間	年次	1年次

授業概要

呼吸・循環障害の成り立ちとそれに伴う症状と成り行きについて学ぶ。病態を示すデータの読み方について学び機能障害の程度を把握する。また、小児の主な病気についても学び成人との違いについても考える機会となる。

授業のねらい

1. 呼吸・循環障害の成り立ちとそれに伴う症状、成り行きについて理解する。
2. 小児の主な疾患の成り立ちとそれに伴う症状、成り行きについて理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	呼吸器感染症(感冒、肺炎、結核)	講義	
2	気道疾患 (気管支喘息、気管支拡張症、慢性閉塞性肺疾患)	講義	
3	肺血管病変(肺血栓塞栓症)	講義	
4	呼吸調節障害(過換気症候群、睡眠時無呼吸症候群)	講義	
5	肺腫瘍、縦隔腫瘍、胸膜疾患	講義	
6	虚血性心疾患	講義	
7	心不全	講義	
8	血圧異常 不整脈、人工ペースメーカー	講義	
9	胸部フィジカルアセスメント	講義/演習	フィジカルイグザミネーション
10	小児循環器疾患	講義	
11	先天性心疾患	講義	
12	小児呼吸器疾患	講義	
13	小児感染症・免疫・アレルギー疾患	講義	
14	小児内分泌・代謝性疾患	講義	
15	悪性新生物(急性リンパ性白血病、脳腫瘍)	講義	

使用教科書・教材・参考書

系統看護学講座 呼吸器 循環器 医学書院
 系統看護学講座 小児臨床看護学各論 医学書院

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業科目名	病態生理学Ⅱ			担当教員	井野 純		
分野	専門基礎分野	教育内容	疾病の成り立ちと回復の促進	総単位時間数	1単位 30時間	年次	1年次

授業概要

血球のはたらきが障害されることに伴う症状と成り行き、データの示す意味について学ぶ。排泄機能障害では排尿のメカニズムの障害について学び、性・生殖器の障害では胎児への影響についても考える機会となる。

授業のねらい

1. 造血機能障害の成り立ちとそれに伴う症状、成り行きを理解する。
2. 排泄経路障害の成り立ちとそれに伴う症状と成り行きについて理解する。
3. 性・生殖機能障害の成り立ちとそれに伴う症状と成り行きについて理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	血液疾患(1)	講義	
2	血液疾患(2)	講義	
3	血液疾患(3)	講義	
4	リンパ系および脾臓の疾患	講義	
5	内分泌系の役割と機能・症状と病態生理	講義	
6	腎疾患(1)	講義	
7	腎疾患(2)	講義	
8	尿路系の疾患(1)	講義	
9	尿路系の疾患(2)	講義	
10	男性生殖器疾患	講義	
11	女性生殖器疾患	講義	
12	乳房・リンパ節のフィジカルアセスメント(1)	講義/演習	
13	乳房・リンパ節のフィジカルアセスメント(2)	講義/演習	
14	妊婦・分娩・産褥の異常(1)	講義	
15	妊婦・分娩・産褥の異常(2)	講義	

使用教科書・教材・参考書

系統看護学講座 腎泌尿器 医学書院
 系統看護学講座 女性生殖器 医学書院
 系統看護学講座 血液・造血器 医学書院
 系統看護学講座 内分泌・代謝 医学書院
 系統看護学講座 母性看護学 各論 医学書院

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業科目名	病態生理学Ⅲ			担当教員	久保川 利哉		
分野	専門基礎分野	教育内容	疾病の成り立ちと回復の促進	総単位時間数	1単位 30時間	年次	1年次

授業概要 情報の受容の経路の障害と処理機能の障害、からだを支える機能がされることに伴う症状と成り行き、データの示す意味について学ぶ。生活への適応能力の範囲とその態様・程度を把握する基礎知識となる。
--

授業のねらい 1. 情報の受容と処理機能の障害の成り立ちとそれに伴う症状と成り行きについて理解する。 2. 体の支持と運動機能障害の成り立ちとそれに伴う症状と成り行きについて理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	意識障害の分類・原因・評価と脳死の判定	講義	
2	高次機能障害の種類と病態生理	講義	
3	頭蓋内圧亢進と脳ヘルニアの病態生理と治療	講義	
4	脳血管障害の疾患	講義	
5	脳・神経機能の検査と治療	講義	
6	運動・感覚を調節する機能障害 反射性機能障害の病態生理	講義	
7	外傷、腫瘍・脱髄・変性の疾患	講義	
8	脊髄・末梢神経・筋系疾患、脳・神経の感染症・中毒	講義	
9	脳神経系のフィジカルアセスメント	講義/演習	
10	身体を動かす機能と働き	講義	
11	運動機能障害の主な症状と病態生理	講義	
12	運動機能障害に対する診察と検査・治療	講義	
13	外傷性の運動機能の疾患「上肢」「脊髄」	講義	
14	外傷性の運動機能の疾患「下肢」「脱臼」「捻挫」「損傷」 内因性の運動機能疾患	講義	
15	運動機能のフィジカルアセスメント	講義/演習	

使用教科書・教材・参考書 系統看護学講座 脳神経 医学書院 系統看護学講座 運動器 医学書院

成績評価の方法 筆記試験100点

備考

授業科目名	病態生理学Ⅳ			担当教員	河本 勝		
分野	専門基礎分野	教育内容	疾病の成り立ちと回復の促進	総単位時間数	1単位 30時間	年次	1年次

授業概要

からだをつくる 栄養の摂取、吸収、代謝、排泄機能が障害されることに伴う症状と成り行き、データの示す意味について学ぶ。また、精神障害のメカニズムを学ぶ

授業のねらい

1. 栄養の摂取・吸収・代謝、排泄機能障害の成り立ちとそれに伴う症状、成り行きについて理解する。
2. 精神機能障害の成り立ちとそれに伴う症状と問題行動、成り行きについて理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	消化管の炎症	講義	
2	消化管の腫瘍 容治	講義	
3	肝臓・胆嚢系の疾患(1)	講義	
4	肝臓・胆嚢系の疾患(2)	講義	
5	膵臓の疾患	講義	
6	糖代謝障害	講義	
7	腹部のフィジカルアセスメント	講義/演習	フィジカルイグザミネーション
8	統合失調症	講義	
9	躁うつ病	講義	
10	神経症・心因反応、人格および行動の障害	講義	
11	精神発達遅滞	講義	
12	精神症状と状態像	講義	
13	意欲障害 器質性精神症候群	講義	
14	精神療法・活動療法・リハビリテーション療法	講義	
15	精神のフィジカルアセスメント	講義/演習	フィジカルイグザミネーション

使用教科書・教材・参考書

系統看護学講座 消化器 医学書院
 系統看護学講座 精神看護の基礎 医学書院

成績評価の方法

筆記試験90点 レポート課題10点

備考

授業科目名	薬理学			担当教員	熊井 俊夫		
分野	専門基礎分野	教育内容	疾病の成り立ちと回復の促進	総単位時間数	1単位 30時間	年次	1年次

授業概要

臨床において安全に薬物を投与し、その経過を捉えるための基礎を学ぶ。薬物療法を受ける対象の理解、与薬の技術や服薬指導につなげる。

授業のねらい

1. 薬の作用機序、有害作用および薬物の管理について理解する。
2. 服薬指導の実際について理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	薬の基本的性質、薬理作用、薬の投与経路 薬効に影響を及ぼす因子	講義	
2	薬物の体内動態、年齢、遺伝的形質、 薬物アレルギー、薬剤耐性	講義	
3	抗感染症薬に関する基礎知識	講義	
4	抗感染症薬・抗癌薬・消毒薬	講義	
5	抗アレルギー薬、抗炎症薬、免疫治療薬	講義	
6	末梢での神経活動に作用する薬物	講義	
7	神経系に作用する薬物	講義	
8	循環器系に作用する薬	講義	
9	呼吸器・消化器に作用する薬物	講義	
10	生殖器系・ホルモンに作用する薬物	講義	
11	物質代謝に作用する薬物	講義	
12	漢方薬、消毒薬、診断薬	講義	
13	医薬品の適正使用	講義	
14	与薬ミス・薬害問題	講義	
15	医薬品の適正使用	講義	

使用教科書・教材・参考書

系統看護学講座 薬理学 医学書院

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業科目名	栄養学			担当教員	西條 奈緒美		
分野	専門基礎分野	教育内容	疾病の成り立ちと回復の促進	総単位時間数	1単位 30時間	年次	1年次

授業概要

食生活は人間の生命活動につながる営みであり、疾病からの回復を促すことを理解できるよう設定した。機能障害に応じた栄養指導の実際につなげる。

授業のねらい

1. ライフステージに応じた栄養について理解する
2. 機能障害に応じた栄養法について理解する。
3. 栄養指導の実際について理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	五大栄養素の働き 糖質の種類と働き	講義	
2	糖質・食物繊維・脂質	講義	
3	脂質(脂肪酸・コレステロール) 蛋白質(働き・アミノ酸)	講義	
4	蛋白質(必須アミノ酸) ビタミン(脂溶性と水溶性、ビタミンA)	講義	
5	ビタミンの機能と代謝	講義	
6	無機質・水の機能と代謝	講義	
7	エネルギーと基礎代謝	講義	
8	推定エネルギー必要量と各栄養素の摂取基準	講義	
9	食品群別摂取量とその特徴	講義	
10	乳児期～老年期の栄養	講義	
11	循環機能障害の栄養法	講義	
12	栄養・代謝機能障害の栄養法(1)	講義	
13	栄養・代謝機能障害の栄養法(2)	講義	
14	栄養指導の実際(1)	講義	
15	栄養指導の実際(2)	講義	

使用教科書・教材・参考書

系統看護学講座 栄養学 医学書院

成績評価の方法

試験100点

備考

授業科目名	臨床治療論 I			担当教員	石橋 卓		
分野	専門基礎分野	教育内容	疾病の成り立ちと回復の促進	総単位時間数	1単位 15時間	年次	2年次

授業概要

手術中の身体の管理、手術侵襲と生体反応を理解する。主な術式の特徴について学び周手術期の看護に役立てる。

授業のねらい

1. 手術中の身体の管理、手術侵襲と生体反応を理解する。
2. 主な手術の特徴と生じやすい合併症について理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	全身麻酔における麻酔中の合併症	講義	
2	全身麻酔における術後合併症のメカニズムと管理	講義	
3	開頭術の特徴と術後合併症	講義	
4	開胸術の特徴と術後合併症	講義	
5	開腹術の特徴と術後合併症(1)	講義	
6	開腹術の特徴と術後合併症(2)	講義	
7	開腹術の特徴と術後合併症(3)	講義	
8	内視鏡手術の特徴と術後合併症 カテーテル治療の特徴と術後合併症	講義	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

使用教科書・教材・参考書

系統看護学講座 臨床外科看護総論

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業科目名	臨床治療論Ⅱ			担当教員	片岡 飛鳥 木元 貴祥		
分野	専門基礎分野	教育内容	疾病の成り立ちと回復の促進	総単位時間数	1単位 15時間	年次	3年次

授業概要

放射線療法、薬物療法の原理と管理について学ぶ。放射線療法を受ける患者の理解につなげる。薬剤師と看護師の連携について考える。

授業のねらい

1. 放射線療法の原理と管理、副作用について理解する。
2. 薬物療法の原理と管理、副作用について理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	放射線療法の原理 放射線療法の管理の実際	講義	
2	局所麻酔における合併症のメカニズムと管理	講義	
3	開心術の特徴と術後合併症	講義	
4	薬物療法の原理と管理、副作用(1) 自律神経に作用する薬を用いた薬物療法	講義	
5	薬物療法の原理と管理、副作用(2) 中枢神経に作用する薬	講義	
6	薬物療法の原理と管理、副作用(3) 利尿薬・ジギタリス製剤・RAA系製剤	講義	
7	薬物療法の原理と管理、副作用(4) ステロイド、非ステロイド	講義	
8	薬物療法の原理と管理、副作用(5) 抗血栓薬	講義	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

使用教科書・教材・参考書

系統看護学講座 臨床外科看護総論
系統看護学講座 薬理学 医学書院

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業科目名	看護カウンセリング			担当教員	廣瀬 寛子		
分野	専門基礎分野	教育内容	疾病の成り立ちと回復の促進	総単位 時間数	1単位 15時間	年次	2年次

授業概要

カウンセリングはクライアントの信頼関係を成立させ、受容的・共感的姿勢をもってクライアントの悩みや苦痛を知り、ともに解決していく過程である。その本質や方法を学び看護につなげる。

授業のねらい

1. 看護師のためのカウンセリング的姿勢を学ぶ。
2. 看護カウンセリングの機能を理解し、患者・家族・ナースカウンセラーが体験した世界を理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	一方通行と双方通行のコミュニケーションについて 看護カウンセリング概論	講義・演習(ゲーム)	
2	言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション		
3	集団におけるコミュニケーション(1)	講義 DVD鑑賞:「12人の優しい日本人」	
4	集団におけるコミュニケーション(2)	講義	
5	集団におけるコミュニケーション(3)	講義	
6	看護カウンセリングの基本姿勢(1)	講義	
7	看護カウンセリングの基本姿勢(2) 患者に寄り添うために必要な姿勢	講義	
8	終末期から看取り後までの家族遺族へのサポート	講義	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

使用教科書・教材・参考書

廣瀬 寛子 看護カウンセリング 医学書院

成績評価の方法

レポート100点

備考

授業科目名	公衆衛生学			担当教員	奥山 和美		
分野	専門基礎分野	教育内容	健康支援と社会保障制度	総単位 時間数	1単位 30時間	年次	2年次

授業概要

保健行政の基盤となる医療資源管理の考え方を学び、人々の健康の保持増進に寄与する公衆衛生の現状について理解する。

授業のねらい

1. 公衆衛生の考え方を理解する。
2. わが国ならびに他国の公衆衛生の現状について理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	公衆衛生の理念	講義	
2	健康の指標1 人口問題・出生・死亡	講義	
3	健康の指標2 死亡原因・死産乳児死亡・健康状態	講義	
4	地域保健	講義	
5	産業保健	講義	
6	健康状態と受療状況	講義	
7	母子保健(1)	講義	
8	母子保健(2)	講義	
9	感染症(1)	講義	
10	感染症(2)	講義	
11	生活習慣予防、健康日本21	講義	
12	生活習慣病	講義	
13	生活環境	講義	
14	難病	講義	
15	国民生活基礎調査 まとめ	講義	

使用教科書・教材・参考書

系統看護学講座 公衆衛生 医学書院

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業科目名	社会福祉 I			担当教員	小川 留美子		
分野	専門基礎分野	教育内容	健康支援と社会保障制度	総単位 時間数	1単位 15単位	年次	1年次

授業概要

歴史的沿革を踏まえ、現代社会における社会福祉の考え方と制度、及び施策体系について理解する。社会のあり方や生活上の問題の変化に福祉の理念を関連付けていく。

授業のねらい

1. 社会福祉の成り立ちを学び、他職種との連携について学ぶ。
2. 社会のあり方や生活上の問題に福祉の理念を関連付けて理解する。
3. 社会福祉の法制度の歴史的沿革を踏まえ、現代社会における社会福祉サービスを理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	社会保障制度と社会福祉	講義	
2	社会福祉の組織について	講義	
3	現代社会の変化について	講義	
4	社会保障・社会福祉の動向 ・保健医療の動向 ・社会福祉サービスの動向	講義	
5	社会福祉の法制度 ・社会福祉の法制度の歴史的展開 ・社会福祉サービスの内容とサービス提供のしくみ	講義	
6	社会福祉法と福祉六法 ・社会福祉法 ・福祉六法	講義	
7	臨床場面で必要な他職種との連携 ・社会保障 ・社会福祉と看護の関連	講義	
8	試験	試験	
9			
10			
11			
12			
13			
15			

使用教科書・教材・参考書

系統看護学講座 社会福祉 医学書院

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業科目名	社会福祉Ⅱ			担当教員	後藤優希		
分野	専門基礎分野	教育内容	健康支援と社会保障制度	総単位 時間数	1単位 15時間	年次	2年次

授業概要

わが国の社会保障制度について学ぶ。人々の生活を支えるしくみを知り、看護の対象となる人々の社会背景を理解する素地とする。社会福祉実践において、援助が必要な場面とその援助方法を学ぶ。

授業のねらい

1. 社会福祉の各分野について、人々の生活を支える仕組みを知り、その実態と問題に対してどのような施策が展開されているか学ぶ。
2. 医療現場、地域社会などの多様な現場で展開される社会福祉実践において、援助が必要な場面とその援助方法を理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	医療保障 ・医療保険の種類と給付内容	講義	
2	医療保障 ・保険料・診療報酬	講義	
3	所得保障 ・年金保険制度	講義	
4	所得保障 ・年金、社会手当、労働保険	講義	
5	公的扶助 ・生活保護の原理、原則・扶助の種類と手続き	講義	
6	介護保険 ・制度の概要・サービスの検討	講義	
7	介護保険 ・院内外の連携・介護保険サービス給付・制度の活用	講義	
8	社会福祉の分野とサービス	講義	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

使用教科書・教材・参考書

系統看護学講座 社会福祉 医学書院

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業科目名	関係法規			担当教員	山路 りえ子		
分野	専門基礎分野	教育内容	健康支援と社会保障制度	総単位 時間数	1単位 15時間	年次	1年次

授業概要

対象の健康を守り、法の概念を理解し与えられた職責を遂行するにあたり必要な看護関係法規を理解する。保険、医療、福祉における行政の役割を理解し活用することにつなげる。

授業のねらい

1. 保健、医療、福祉における行政の役割を理解する。
2. 法の概念を理解する。
3. 看護関係法規を理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	法律総論 保健・医療・福祉における行政の役割	講義	
2	保健師看護師助産師法	講義	
3	医療法・薬事法・医療過誤	講義	
4	環境衛生法	講義	
5	保健衛生法	講義	
6	社会保障法	講義	
7	社会保険関係法規	講義	
8	社会福祉関係法規	講義	
9			
10			
11			
12			
13	健康支援と社会保障制度		
14			
15			

使用教科書・教材・参考書

系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 医学書院

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業科目名	保健医療論			担当教員	高柳 真理子		
分野	専門基礎分野	教育内容	健康支援と社会保障制度	総単位 時間数	1単位 15時間	年次	3年次

授業概要

法これからの医学、医療の方向を理解し、看護の果たすべき役割について理解を深める。

授業のねらい

1. 現代においてどのように健康や生活が守られているのか理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	医療保険	講義	
2	介護保険	講義	
3	介護保険	講義	
4	母と子を守る法律	講義	
5	児童を守る法律	講義	
6	高齢者を守る法律	講義	
7	障害者を守る法律	講義	
8	訪問看護における法律	講義	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

使用教科書・教材・参考書

なし

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業科目名	リハビリテーション論			担当教員	野宮 一志		
分野	専門基礎分野	教育内容	健康支援と社会保障制度	総単位 時間数	1単位 15時間	年次	3年次

授業概要

退院後の生活の質を高めるための支援の方法を学ぶ。機能障害に応じて環境を整える方法を考える機会となる。自助具や社会資源の活用方法を考えていくための基礎となる。

授業のねらい

1. リハビリテーションの実際を学び、生活の質を高めるための支援について考える。
2. 機能障害に応じた社会資源の活用を理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	リハビリテーション ストーマケア	講義	
2	リハビリテーション 褥瘡	演習	
3	装具・車椅子・杖・自助具	演習	
4	言語障害のリハビリテーション(言語療法)	講義/演習	
5	嚥下障害へのアプローチ	講義/演習	
6	褥瘡ケアと介護用品	講義/DVD	
7	ストマケアと社会資源の活用	講義	
8	筆記試験	試験	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

使用教科書・教材・参考書

講師作成資料

成績評価の方法

筆記試験100点

備考